

大阪 需要好調も上値解消圧力高まる動き

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見商状。需要増に伴って、需給環境に崩れはないものの、海外マーケットの軟化を受け、東京製鉄宇都宮・田原工場が値下げに傾いたことで、電炉側の高値敬遠姿勢が一段と強まる動きになりそう。同地区電炉のH2実勢値は3万1,500～3万2,500円(一部上値3万3,000円)、新断バラ同3万4,000～3万5,000円、鋼ダライ粉バラ同2万8,500～2万9,500円(同3万円)見当で推移。

月替わりもしくは週明け直後とあって、先週後半ほど荷動きに勢いはなさそうだが、今週末からは3連休を

控え、今月生産についてもこれまでと異なり、29万トンの高いレベルが見込まれるため、「メーカー購入が増えるのも必然的といえるだけに、需要増を支えに、それほど大きな値動きには至らないのでは」(ヤード業者筋)との声が聞かれる。

一方、トルコ向け輸出価格の下落が韓国向け輸出商談にも悪影響を及ぼし、先週末には複数の韓国ミルが日本玉商談価格を引き下げた。これを受け、先週には東高西低を牽引してきた東京製鉄宇都宮・田原工場が5月2日以来、約5ヶ月ぶりに買値を実施し、拠点間格差は解消へ向かっている。海外市場の軟化、さらには地区炉前上値が東京製鉄全拠点の特級買値を上回ったことに、電炉側も強い抵抗を持ち合わせているため、「少なくとも東鉄以上の買値は必要のない環境に入ってきた」(商社)といい、裏値含めた上値解消機運が広まりつつあるようだ。

クボタ、可鍛コ口価格を据え置き

(大阪) クボタは9月30日からの可鍛コ口購入価格を検討した結果、前週と同値に据え置くことを決めた。同社の可鍛コ口購入価格はトン当たり3万8,200円と変わらず。

近畿工業(兵庫県神戸市)、雑品破碎処理機の見学が急増

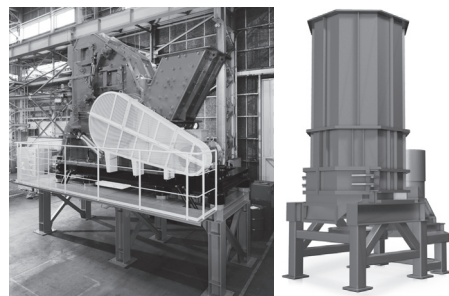
～業界ニーズの高さを証明～

(兵庫) 破碎機・選別機メーカーの近畿工業(株)(本社=兵庫県神戸市中央区栄町4丁目2番18号、和田直哉社長)が開発したスーパーシュレッダーとV-BUSTER(ブイバスター)のデモ機見学に日本全国からすでに100社近い金属リサイクル企業が訪れているようだ。

破碎・選別技術に定評のある近畿工業は数年前から技術開発に磨きをかけ、工業系雑品や黒モーターの破碎処理に特化したスーパーシュレッダーを15年12月に開発。また、今年夏には自動車電装用モーター(ワイパーモーターやパワーウィンドウモーターなど)、小型工業用雑品、小型家電、家電4品目、不燃粗大ゴミなど幅広い品目を処理対象物としたV-BUSTERの販売も開始するなど、処理困難物とされてきた鉄・非鉄の複合素材を精緻に破碎する処理機械を次々に世に送り出してきた。中国側の環境規制の強化によって、雑品市場の存続性がここにきて本格的に危ぶまれ、金属リサイクル企業にとっては雑品スクラップの自社処理に対する必要性を迫られている。こうした業界ニーズを追い風に、近畿工業の処理機械に対する注目度がこれまで以上に高まっており、昨年後半から今年にかけては全国各地の金属リサイクル企業がサンプルを持参してデモ機を置く三木工場(兵庫県三木市)への見学が飛躍的に増えている。

発売開始前から業界内で高い関心を寄せられてきたスーパーシュレッダーは国内屈指の大手金属リサイクルの丸本鋼材(本社=広島県)やマテック(本社=北海道)への納入実績を持つ。このほかにも小型家電などを材質ごとに分離破壊し、後工程の選別工程を高められる「破壊機」に加え、小型家電リサイクル法の

制定に合わせて開発された小型家電や小型電子機器を基盤はそのままの状態分離破碎する「分離破碎機」も複数の大手金属スクラップ企業が



雑品環境の悪化を受け、注目度が高まるスーパーシュレッダー(左)とV-BUSTER(右)

納入している点でも同社製の機械に対する信頼や認知度の高さが窺える。

【製品や見学に関する問い合わせ先】

近畿工業(株)
兵庫県神戸市中央区栄町通4-2-18
電話078-351-0770

製鋼原料 ギロチンシャー プレス加工

- ギロチン材、鋼ダライ粉
- 新断くず
- ステンレス、その他非鉄全般

高価大量買付け



三浦金属株式会社

本社 大阪市西淀川区佃 4-3-12
TEL 06 (6471) 1038 (代)
FAX 06 (6471) 2559